



茅ヶ崎同盟教会学校だより

2006年度年間暗誦聖句 (こどもさんびか1番)

あいするものたちよ。わたしたちは、たがいにあいしあおうではないか。あいは、かみから出たものなのである。すべてあいするものは、かみから生れたものであって、かみを知っている、あいさないものは、かみを知らない。かみはあいである。(口語訳)

ヨハネの第一の手紙 4章7～8節

2006年は4月16日がイースターでした。教会学校では毎年、朝8時から朝食会を行っています。イースターエッグを探して、ウサギ・パンとコーンスープにイチゴの朝食を参加者全員で頂きます。今回は当日の様子を幼稚科・小学低学年担当の早坂美奈子先生が報告いたします。

Happy Easter!

2006年CS イースター朝食会レポート

奉仕の会の方々の手になる清楚な百合の花で壁面が飾られ、生花の百合がかぐわしい香りを放つ静かな礼拝堂。4月15日の朝7時30分を回ると気の早い子どもたちのにぎやかな声が響き始めます。さあ、早く来た子どもたち、卵を上手に隠してね。雨で残念ながら外には隠せないけど、教会の中ならどこでもいいよ。2歳の小さいお友だちも探すことを忘れなければね。



8時から全員でイースターの大切な意味、イースターの語源などのお話を森本校長先生から伺いました。毎年聞いても、毎年新鮮な喜びの湧くイースターのお話です。

お話が終わるといよいよ卵探し。小さなかわいい手に持ちきれないほどの卵を見つけて、みんな笑顔がこぼれます。お祈りをして、うさぎパン、コーンスープ、いちご、そして見つ



けたゆで卵に紅茶の朝食会の始まりです。おやおや,サンルームにセットしたテーブルはあっという間に満席！和室にも集会室にもにぎやかな食事の輪が広がりました。

ニューフェイスもいつものメンバーもすぐうち解ける子どもたち,最近パウフルに教会を支えてくれている若手たち,タイミング良く帰国してくれた梅ちゃん,進学して久しぶりに元気な成長した姿を見せてくれたきみ。大磯から高校時代の友達が来てくれるなんて,なんて素敵なんでしょう！50名以上の参加者によるほんとに近年にないにぎやかで楽しいイースター朝食会となりました。きっとこの日に行われる森本響くん,村井智子さんという若い方々の受洗の喜びが,教会に,そしてそこに集うひとりひとりの心に泉のようにわき上がっていたからですね。感謝です！イースターおめでとう！（早坂美奈子 記）

編集後記



今回は大変にぎやかに行われたイースター朝食会のレポートをご紹介します。5月にはビーチプレイデーがあります。7月には楽しい夏期学校も予定されています。幼稚科から成人科まで,毎週日曜日の9時から皆さまのご参加をお待ちしております（森本）。(April,23rd..2006 Updated)

